



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 1 日

1. 出張国名 ガーナ、モザンビーク

2. 出張月 平成 26 年 5 月～7 月

3. 出張目的

1) 中小規模ため池の水管理組織等に関する現地調査: A

2) モザンビーク・ナカラ回廊における意思決定支援システム構築のための
農家記帳状況調査と収益性等の把握: B

4. 成果の概要

1) 実証調査村であるタマレ近郊の Nwogu 村にて、ため池下流の土地利用状況と稲作農家の現状を把握した。また、同村のため池の水管理体制を検討するため、水利用者組合をはじめとする貯水の管理体制の構築が既に進められているアッパーイースト州にて事例調査を行い、ダム管理の現状と課題、水利用者組合の役割などを明らかにした。

2) ナカラ回廊東部（ナンプラ州ラパレ郡）、西部（ニアサ州シンブニラ郡）、中部（ザンベジア州グルエ郡）の農家試験対象村において、2013-14 年雨季の試験結果に対する参加農家の評価・認識を把握した。

また、彼らの収益・労働時間データに関する記帳簿の回収・訂正作業、および未記帳データ等に関する聞き取り調査を行い、個別農家の意思決定支援モデルの作成に必要な各種データを収集した。